

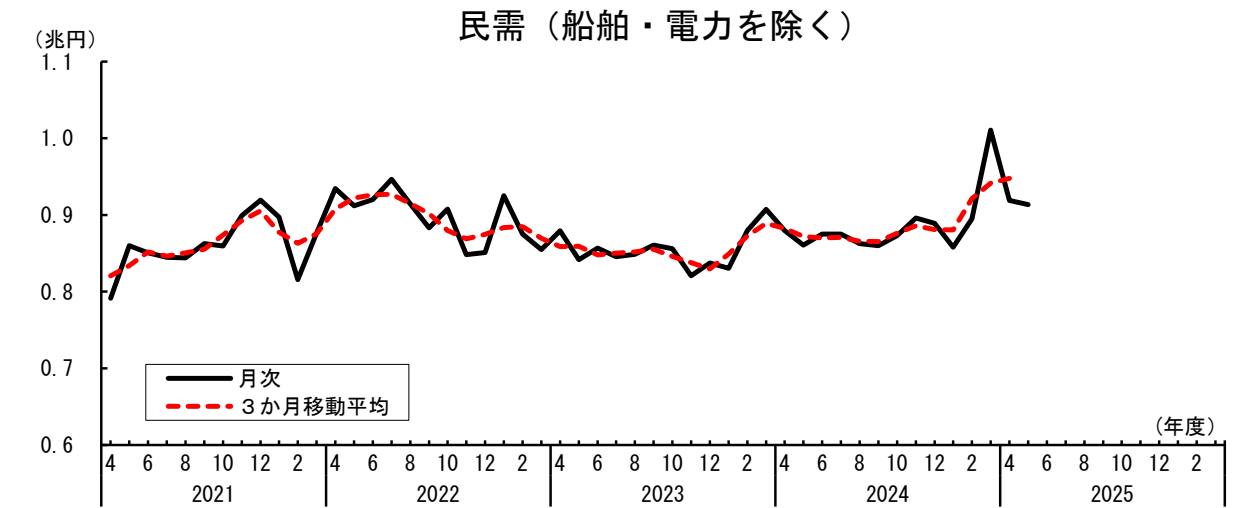
機械受注統計調査(令和7(2025)年5月実績)
結果の概要

機械受注は、持ち直しの動きがみられる
(基調判断据置き)

○ 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、5月は前月と比較して0.6%減少し、2か月連続の減少となった。

○ この要因として、内訳をみると、製造業が1.8%減、非製造業(船舶・電力除く)が1.8%増となったことが挙げられる。

○ こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きがみられる。



対 前 月（期） 比										(単位: %)
期・月 需要者	2024年 (令和6年) 4- 6月 実績	7- 9月 実績	10- 12月 実績	2025年 (令和7年) 1- 3月 実績	4- 6月 見通し	2025年 (令和7年) 2月 実績	3月 実績	4月 実績	5月 実績	
受 注 総 額	5.9	△2.6	5.4	2.4	△1.6	3.0	△9.4	△2.3	3.8	
民 需	12.5	△12.9	9.9	1.3	△1.5	12.1	△7.0	△4.0	19.8	
〃（船舶・電力を除く）	△0.1	△0.7	2.3	3.9	△2.1	4.3	13.0	△9.1	△0.6	
製 造 業	3.9	△5.1	9.0	△0.9	1.7	3.0	8.0	△0.6	△1.8	
非製造業（除船・電）	△3.9	2.4	△0.7	5.7	△4.5	11.4	9.6	△11.8	1.8	
官 公 需	△22.7	24.8	31.3	4.1	△13.9	△20.4	△31.0	△12.4	25.2	
外 需	15.3	0.2	△5.3	2.5	4.8	3.4	△13.1	6.8	△6.4	
代 理 店	△5.4	6.3	△2.5	2.8	△1.0	△3.9	6.5	△1.3	11.1	
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	4.6	2.2	0.7	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2025年3月末時点の調査。